

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度				
事業番号	22	事業名	循環型社会推進事業		担当課		環境課				
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-2-1-2 循環型社会推進事業				
			（大事業名） 清掃事業		決算書ページ		158 ~ 160 一般				
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		事業開始の背景	昭和42年もえるごみ収集開始、昭和60年資源の分別収集試行開始				
		政策	2	暮らして心地よい生活環境の形成							
		施策	(2)	ごみの減量化・資源化						市民・民間事業者との連携協働の可能性	
	その他	開始年度		昭和42年度							
		終了予定年度		☐ 年度 ☒ 未定							
		根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	関連計画		一般廃棄物処理基本計画								
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）				
		①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）			
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 全員		【アクションプラン指標】 家庭系もえるごみ1人1日あたり のごみ排出量 【その他の指標】 一般廃棄物処理基本計画の実施 施策、長久手市ごみ減量・収集 アクションプランの17の取組を 実施する。		市民の資源分別意識、ごみその ものの発生抑制行動が醸成され る。 （成果指標名） 家庭系もえるごみ1人1日あたり のごみ排出量		大 事 業 共 通 市民1人ひとりがごみに関する 課題について自分ごととして捉 え、分別やごみの発生抑制を当 たり前のこととして取り組むよ うになる。			
塵芥、資源の収集・運搬・処理 の実施に関する業務を行うとと もに、市民がごみ減量や分別が しやすい環境づくりを行うため の施策や啓発を行う。											

II活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
	1	家庭系もえるごみ1人1日あたりのごみ排出量	g / 日	基準値	465	見込	455	448	441	434	427
				目標値	455	実績	457				
	2	ごみの組成調査におけるもえるごみ袋に含まれる資源混入率	%	基準値	－	見込	30	28	26	24	22
				目標値	－	実績	30				
	3	分別講座・環境学習等出前講座開催数	回	基準値	－	見込	2	2	2	2	2
				目標値	－	実績	1				
	4			基準値		見込					
				目標値		実績					
エピソード	事業開始からの経緯										
	分別品目の細分化、さまざまな媒体や機会を用いた情報提供、ごみ発生抑制のための支援など、古くからごみ減量に向けてさまざまな施策を展開し、平成28年度までは順調にごみは減量していたが、それ以降減量は鈍化傾向となり、令和2年度当時は長久手市一般廃棄物処理基本計画に定める令和5年度の目標からは約15%乖離があった。もえるごみ組成調査を実施したところ約30%が本来資源であるものが混入していたこともあり、目標を達成するためには市民の資源への分別やごみそのものの減量行動を促す必要があるため、令和3年度にもえるごみ袋増額の検討を始めていたが、令和4年度にその方針をいったん見直し、市民がごみ減量に取り組みやすい環境づくりを市が先行して実施することとした。増額とともに併せて実施する予定だった17の取組を「長久手市ごみ減量・収集アクションプラン」として策定した。										
	R5(2023)年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
	一般廃棄物処理基本計画を策定し、施策の内容を主に令和4年度に策定した「ごみ減量・収集アクションプラン」の取組とすることで実効性の高いものとした。施策も一部実施し、例えばもえるごみ及びプラスチック製容器包装の収集委託車両を1地区あたり3台から5台に増車したことにより、収集時間が大幅に短縮できた。またペットボトルの水平リサイクルを開始したことによりカーボンニュートラルに寄与したと同時に収入額も増加した。										

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		家庭系もえるごみ1人1日あたりのごみ排出量		g/日	H25 年度		H30 年度		【現状】 R5 年度		R10 年度		R15 年度	
					521		465		457		420		386	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					令和6年度から令和15年度までの10年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画において、成果指標となっている「家庭系もえるごみ1人1日あたりのごみ排出量」を主要成果指標と位置づけているため。						
	評価の理由、分析													
	少しずつごみは減量しているが、このままでは目標を達成できない。令和6年度からの一般廃棄物処理基本計画の施策を実施することにより、毎年度家庭系もえるごみ1人1日あたりのごみ排出量の目標を達成しているか検証していくため、現段階ではどちらともいえない評価である。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度から令和15年度までの10年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画において、成果指標となっている「家庭系もえるごみ1人1日あたりのごみ排出量」を毎年度検証することとなっているため。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

令和7年度予算の方向性（PLAN）

IV費用

R7年度の費用（R6年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
A	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算			
	C. 縮小 D. 廃止			264, 825	244, 041	227, 475	161, 780	162, 100			
理由			特定財源	合計額	91, 377	91, 647	87, 450	73, 743	85, 346		
R7年度はR6年度と同等の内容の施策を進めるため。				（内 国費）							
				（内 県費）							
				（内 諸収入）	25, 953	27, 447	29, 050	9, 543	26, 530		
				（内 その他）	65, 424	64, 200	58, 400	64, 200	58, 816		
積算額			一般財源		173, 448	152, 394	140, 025	88, 037	76, 754		
R6予算とほぼ同等だが、手数料や委託料は過去実績による積算をするため、多少変動する。			R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞								
			会計年度任用職員報酬 1, 858千円（1, 736千円） 会計年度任用職員特殊勤務報酬 16千円（24千円） 会計年度任用職員期末手当 371千円（348千円） 会計年度任用職員勤勉手当 311千円（0千円） 普通旅費 35千円（35千円） 特別旅費 69千円（69千円） 会計年度任用職員通勤費 20千円（20千円） 消耗品費 1, 067千円（1, 067千円） 燃料費 13千円（13千円） 印刷製本費 29, 614千円（38, 516千円） 光熱水費 16千円（16千円） 修繕料 939千円（0千円） 火災保険料 5千円（5千円） ごみ袋等販売手数料 10, 455千円（10, 402千円） 空きびん処理手数料 3, 473千円（3, 454千円） ペットボトル処理手数料 5, 468千円（4, 886千円） 古紙等引取手数料 515千円（520千円） プラスチック製容器包装処理手数料 18, 524千円（16, 584千円） 特定家庭用機器処理手数料 66千円（66千円） 振込手数料 6千円（6千円） 廃棄物処理手数料 99千円（99千円） 電子マニフェストシステム手数料 11千円（12千円） ごみ収集案内チラシ配布委託 1, 251千円（1, 188千円） ごみ収集及び運搬委託 154, 950千円（134, 442千円） 動物死体処理委託 599千円（689千円） プラスチック製容器包装再商品化処理委託 225千円（194千円） 粗大ごみ回収予約受付委託 4, 727千円（4, 579千円） ごみ組成調査業務委託 1, 067千円（0千円） スプレー缶処理委託 983千円（616千円） 資源等集配委託 13, 332千円（14, 063千円） 空きびん収集運搬業務委託 6, 864千円（6, 864千円） ごみ出しアプリ保守委託 132千円（132千円） その他びん再商品化処理委託料 80千円（117千円） 指定ごみ袋配送等管理委託 7, 622千円（0千円） 道路通行料 18千円（18千円） ごみ減量化推進あいち県民会議員担金 24千円（24千円）								